

宅建

宅地建物取引士

Real Estate Transaction Specialist

宅建を活かす!! 宅建×物流

対談

イーソーコ 大谷 会長
宮寄 講師

まだまだ拡がる
宅建士の可能性

2014年度合格者数

2014年度の日建学院 宅建講座を利用された方の合格者数

2,862人

2014年度全国合格率

2014年度の日建学院 宅建コース出席率60%以上で模擬試験正答率60%以上の基準を満たした方の合格率

73.4%

日建はなぜ合格率が高いのか?



対談

INTERVIEW

イーソーコ大谷会長 VS 宮寄講師対談

今後の物流ビジネスには 「宅建」取得が必須になる

物流のエキスパートに留まらず、

倉庫・物流施設を基軸とした総合営業を展開するイーソーコ。
大谷巖一会長が「宝の山」と語る物流不動産ビジネスについて
その考え方、未来性、必要なスキルや人材を
不動産資格のプロ、宮寄晋矢氏が探る。

(文中敬称略)

大谷 岩一さん
イーソーコ株式会社 取締役会長

日本物流不動産株式会社取締役会長ほか、
数々の職務を兼任する。大学卒業後、東京倉庫
運輸株式会社入社。常に物流施設を基軸とした
新しい物流のビジネスモデル構築を考える。

まだまだ拡がる 宅建士の可能性!!

宅建を活かす!!

宅建×物流

物流不動産にはとてつもない価値がある

宮寄:大谷会長が掲げる「物流不動産」というビジネスは、不動産業界から見ても斬新で画期的だと思います。このビジネスに目をつけたのは、どんなきっかけからだったのでしょうか?

大谷:私は15年間きっちりと物流の仕事をしてきました。あくまで基軸は物流であり、その中で考えたこと、見えてきたものがいろいろあります。物流業界というのは、ものすごい財産、資産をもっているんですね。現在日本の産業界で土地を1番多く使用しているのが工場、2位と3位が物流とデベロッパーで行き来しています。しかも普通の不動産ではありません。1物件あたりの敷地が広く、床荷重や天井高といった面でも、構造が普通の建物よりずっとしっかりしています。物流業界はそういったスペシャルな

不動産をもち、運営しています。物流の視点からよりよいソリューション、今までなかつた新しいアイデアを出せるのは、物流のエキスパートなのです。しかし現状、ほとんどのプレーヤーがその価値に気づいていません。

宮寄:つまり、物流業界に携わる人たちが自分たちの不動産を自由に運用できれば、さまざまな可能性が広がるうえに、より利益が上げられるということですね。



物流業界は夢のある新3K業界になれるはず

大谷:これからは、多様なお客様のニーズに総合的に応えることができる「物流ユーティリティプレーヤー」が求められています。

宮寄:総合的に考えて動ける人材となるために、必要なもののひとつが、宅建資格ですね。

大谷:宅建の資格をもつことで、デベロッパーに丸投げしなくて済むということです。不動産業界はお客様のニーズに応える仕事をし、成長してきました。物流業界もそれに続かなければ

ば。「カッコよく、稼げて、感動がある」。そんな夢のもてる新3Kの業界になるためには、資産を棚おろしし、新しい視点で運用する必要があります。物流不動産がよりよい形で市場を回れば、不動産業界にもメリットがあるはずです。

宮寄:こちらの社屋のように、倉庫をオフィスや

スタジオにリノベーションすることもできますね。

大谷:今、大手ファンドがメガ倉庫をバンバン新築しています。5年も経てばダブつきが出てくるはず。その時に倉庫の有用性や運用方法を知り尽くした物流業界が、いかに他業種を含めたお客様のニーズと物件をマッチさせられるか。それは宝の山であり、勝負どころもあります。今、宅建の資格を取っておくことは、最初にできる、最低限の準備です。



倉庫リノベーションで広がる物流不動産の可能性



イーソーコグループが運営するシェアードワークプレイス「co-ba Re-SOHKO」のラウンジ「CONTAINER」。築35年の倉庫をリノベーションしたハイセンスな空間は、カスタマイズ可能なレンタルオフィスとして注目を集めている。



Shinya Miyazaki



宮寄 晋矢さん
日建学院 宅建講師

目標は「全員合格!」。05年、日建学院の講師となり、抜群の合格実績、受講生評価を得ている。『YouTube宅建みやざき塾』は、YouTube宅建動画視聴数No.1を記録。再生回数は100万回超。

資格は自分の価値を上げ、日々の暮らしにも役立つ

宮寄:大谷会長も宅建の資格を取得されていますが、仕事をしながらの試験勉強はかなり大変だったのです?

大谷:すべての範囲を完璧に仕上げる時間も気力もなかったので、決めたところだけは徹底的に深堀りました。その他の部分は…まあ、合格できたので良しとしてください(笑)。

宮寄:私たちも、ある程度は範囲を絞って、得点しやすいところから集中的に勉強するよう

指導しています。

大谷:宅建というのは運転免許の次に役立つ資格だと思います。しかも、民法なんかは学ぶことが毎日の生活に役立つ。自分の価値を上げる資格を、若い人たちにはぜひ取得してほしい。私も応援は惜しみませんので、宮寄先生も、どうかよろしくお願いいたします。

宮寄:はい。これからも全力で皆さんの合格を応援させていただきます!



日建学院ホームページで対談のダイジェスト動画を公開中